

第53回小松市PTA研究大会

日末小学校育友会

豊かな心を育む ひずえバージョン

～ 家族の絆を深める
自然の豊かな地域とともに ～



学校沿革・紹介

現在の日末小学校のルーツは、学制発布以前の明治6年（西暦1873年）日末町内の聖徳寺に開かれた、私塾にさかのぼります。3年後の平成25年（2013年）には、創立140周年を迎える歴史ある学校です。学制が発布された明治8年、日末・松崎・佐美・浜佐美の4村が合共同で校舎を建設したのが始まりです。これが当育友会の会誌である「よんさと」命名の由来にもなっています。卒業生には、日本画壇に「写実の鬼才」として名を馳せた宮本三郎画伯がいます。自身の卒業式には総代として答辞を述べた、と沿革史に記録されています。

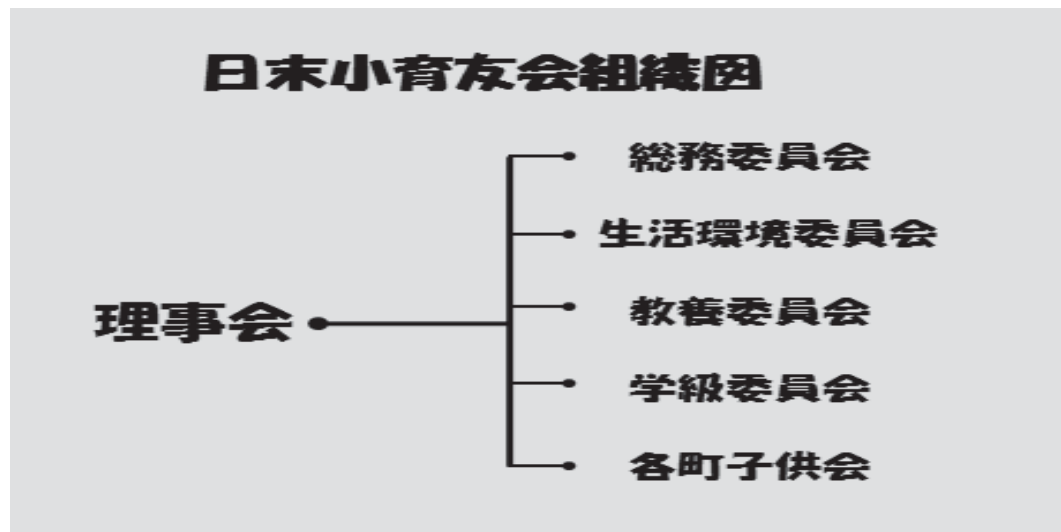
校区は小松の西南部、田畑に囲まれたのどかな地域です。地域の人たちは素朴な気風の中にも連帯感があり、学校に対して理解があり大変協力的です。また、校区内に自衛隊の官舎があり、全校児童165名の半数近くが在住しています。

校舎は平成17年に改築され、屋上には太陽光発電パネル、地下には雨水の貯水槽が在り環境やバリアフリーに配慮した設備が整っています。地域の特性を生かして新しい学校給食のあり方や、「食育」をテーマとした教育研究・実践を行い、平成20年度文部科学大臣表彰を受賞しました。この食育の研究が、地域と学校の結び付きをより強めることとなりました。



育友会紹介

日末小学校育友会は、各会員の教育に対する理解を深め、教養を高めるとともに、地域社会の発展と児童達の幸福をはかるという目的のもと、児童の保護者・教職員・各町の代表者にて組織されています。



主な年間活動・行事

総務委員会

- ・ 廃品回収
- ・ 校地大清掃、プール掃除
→ 児童も参加しています。
- ・ エコクリーン活動

教養委員会

- ・ 教養講座
→ 育友会と学校が一体となって活動しています。
- ・ 3世代クッキング・郷土料理レシピ
- ・ 会報誌「よんさと」発行

生活環境委員会

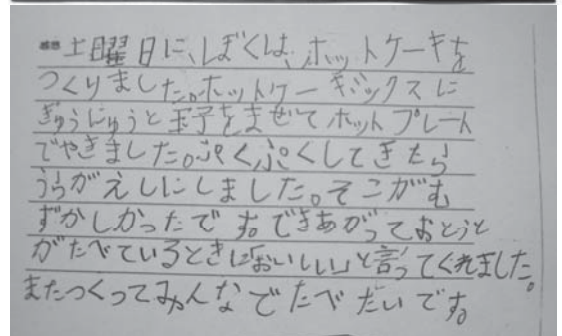
- ・ 交通安全指導、交通安全教室
- ・ 学校保健委員会
- ・ 救急処置法講習会

学級委員会

- ・ 学級懇談会
- ・ 親子レクレーション
- ・ 秋の夜長を楽しむ会（隔年開催）

育友会バザー（隔年開催）

→ 育友会・学校・地域を含めた活動です。



親子レクリエーション

日末バージョン

毎年各学年ごとに、企画・運営している親子レクリエーションは、子どもたちが育てた、さつまいも・にんじんを使った調理実習や、地域の農家の方のご協力で実現したイチゴ狩りなど、恵まれた土地、環境を生かした活動や、社会見学・スポーツなど活動内容は、様々です。



いっぱい

自衛隊での体験活動



むずかしいなあ

どの学年もととても高い参加率で、近年はお父さん方の参加も多く子どもたちの成長が身近で感じられる大切な場ともなっています。

そばうち体験



自分たちで育てたさつまいも
で作った茶巾絞りと、蒸しパ
ンだよ！

これからも、地域の協力を仰ぎつつ子どもたち・保護者が、一緒に学び・楽しむ機会にしていきたいと思います。

秋の夜長を楽しむ会

『秋の夜長を楽しむ会』は、平成13年度より実施している親子・家族で秋の夜長をゆっくりと楽しむことを目的とした行事です。

当初は毎年開催していましたが、近年は企画・運営に関わる保護者の負担等を考慮して、バザーと交互に隔年開催にしています。

内容は、「勾玉づくり」や「マリンバ演奏会」に始まり、今回は3部構成にしてみました。

《ピアノ鑑賞と歌を楽しむ会》

ショパン「幻想即興曲」
葉加瀬太郎「情熱大陸」
みんなで歌おう♪
「さんぽ」「虫の声」



《日末の昔話・ハートフル・ボランティアのブラックシアター》



《親子のリラクゼーション体操》

各コーナーを、30分単位で移動しながら楽しみました。

かつて本校が取り組んでいた読書教育・親子読書の取り組みが、文化や芸術に親しむ催しへと発展し、学校・地域ぐるみで、秋の夜長に豊かな心を育む活動として引き継がれています。



育友会バザー

育友会バザーは、地域の方々のご協力で集まった家庭用品などを販売する『のみの市』と、育友会の各委員会が企画・運営している催し物コーナーとで行っています。

内容は、『のみの市』をはじめ、輪投げくじやビーズアクセサリー・しおり、ビニール袋ロケット、スライムを作るコーナーを設け、手作りならではの良さを実感し親子で一緒に楽しむ時間を作りました。



ほかにも、フランクフルト・かき氷・綿菓子などを販売し、なかでもたこ焼き器で作ったベビーカステラは、好評でした。ハートフル・ボランティアさんの読み聞かせコーナーや、インテリアデザイナー、カズさんのパフォーマンスもありました。

前出の『秋の夜長を楽しむ会』との交互開催ではありますが、この活動の収益金は、学校施設や、学校図書の充実に充て、子どもたちのよりよい育成に役立てています。

日末は洋画の巨匠、宮本三郎先生を生んだ地域であり、子どもたちは日々先生の絵を目にできる環境にあります。お招きしたカズさんの、筆一本で遊書を書き上げる、圧巻のパフォーマンスに興味津津見入っていました。生の筆さばきを間近に体験することができ、第2・第3の未来の宮本三郎の誕生を期待しています。



参加型の学校保健委員会

生活環境委員会の特色ある活動に、学校保健委員会があります。例年石川の教育ウィーク期間中、学校公開に合わせ、秋に実施しています。

20年度は、「みんなにつたえよう 日末の食と文化 風土・フード ～いっぱいあるよ！

大切なもの たくさんあるよ！大切なこと～」をテーマに実施しました。

各学年の食育や環境についての学習発表の後、体験活動タイムとして、各学年・育友会のコーナーが設けられ、「ビンゴ・野菜パズル」「にんじんクイズ・紙芝居」「バラエティー豆つかみ」「レッツ食べ物カルタ」「パソコンで栄養バランスを考えよう」「精米体験」「スポーツ大好き！」など家族一緒にたくさんの体験をしました。

《手洗い指導・体験》コーナーでは

- ・あらかじめ手に特殊クリームを塗ります。
- ・普段どおりに手を洗います。



- ・ブラックライトにかざすと・・・



しっかり洗
うぞ！



「親子一緒に体験したことで、学校でも家庭でも正しい手洗いを！という共通意識が持てるようになりました！」

各会場、驚きや感心の声と笑顔の絶えない半日でした。

21年度は、流行し始めていた《**新型インフルエンザなどの感染症**》を、題材に南加賀保健所長さんの講演をお聞きする予定でしたが、本校の学級閉鎖と重なってしまい残念でした。期日を変更し校医、薬剤師さんを招いてのパネルディスカッションを開催しました。



- ・インフルエンザについて正しい知識、情報を得る
- ・予防法とかかった時の対処法



- ・流行時とあって関心が高く、パネリストだけでなく、参観者からも活発な質疑があり、タイムリーな企画が好評でした。

地域の方々と共に



三世代クッキング

祖母、母、子と三世代と一緒に料理に取り組みました。おばあちゃんレシピは、地域に伝わるおいしい郷土料理であり、地産地消のとびきりのごちそうです。

昔、日末にくじら
おったがや…

元 PTA 会長さんのお話

OBとして、孫たちのために駆けつけてくださいます。手元にあるのは、聖徳寺に保存されている鯨捕り用の「もり」です。



収穫祭

米作りや和太鼓を教えていただいた方たち、を招待しての収穫祭です。

子どもたちも、太鼓を加えた合奏や踊りを披露しました。



成果と課題

以上の育友会活動を通して、私たちは日末地区の恵まれた自然環境、地域の方々の子どもたちへの温かい思いやりに気づき、改めて感謝の気持ちを持つことができました。学校と共に食育の研究に参画したことは、子どもの生活習慣を支える家庭の重要な役割を再認識できました。これからは、その維持と共に、家庭での学習習慣へとつなげることが、保護者、家庭の役割だと考えています。

また、育友会活動を牽引してきた私たち役員自身が、育友会組織そのものの主旨を再確認し、今の時代だからこそ豊かな心を育むことの重要性を共有できました。

日々の多忙さにかまけて子どもたちの生活にさえ目を向けることを怠りがちですが、これから毎年役員・委員の引継ぎの機会を捉えて、育友会活動の主旨、指針をしっかりと継承していくこと、そして時代に適合した活動を積極的に取り入れていく意思を持ったリーダーの育成が今後の課題であると思います。

社会の多様な変化の中で、保護者の生活実態にも大きな変化があります。これまで、育友会行事への親子、家族での参加や、平日開催してきた教養講座や交通安全教室、学校保健委員会の企画も難しくなっていくことも考えられます。そんな中でも常に原点に立ち戻り、学校・家庭・地域の協力で対処し柔軟な発想で、家族の絆を意識しながら活動していきたいと思っています。

